

### 平成 28 年度決算が認定されました

平成 28 年度決算が市議会 9 月定例会で認定されましたので、主な内容をお知らせします。決算書は市役所の情報スペース、図書館、市ホームページでご覧になれます。  
【問合せ】 財政課 ☎ 551・1534

**●一般会計●**  
平成 28 年度の一般会計決算額は、歳入（収入）が 266 億 8,946 万 4 千円、歳出（支出）が 255 億 7,651 万 8 千円で、収支差引額は 11 億 1,294 万 6 千円、翌年度繰越財源を除いた実質収支額は、11 億 1,208 万 6 千円となりました。歳入額は前年度に比べて 6.2% の増、歳出額は 8.5% の増となっています。また、28 年度から 27 年度の実質収支額を差し引いた単年度収支額はマイナスの 4 億 2,436 万 4 千円となっています。28 年度決算の前年度との主な比較は下記のとおりです。

**●特別会計●**  
特別会計の 4 会計の決算は、下表のとおりです。特別会計の決算額は、全体で歳入が 151 億 1,076 万 8 千円、歳出が 142 億 2,568 万 5 千円となり、歳入は前年度に比べて 0.1% の増、歳出は 1.2% の減となっています。国民健康保険特別会計では、収支差引額が 4 億 8,924 万 3 千円の黒字となっていますが、一般会計からの繰入金を差し引き一般会計への繰出金を加算した収支額は 2 億 4,399 万 6 千円の赤字であり、大変厳しい運営状況となっています。

### 平成 28 年度特別会計決算

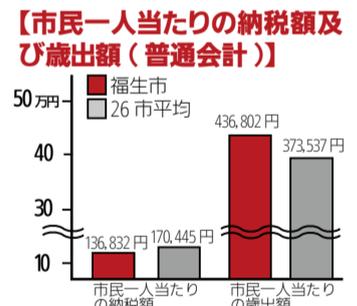
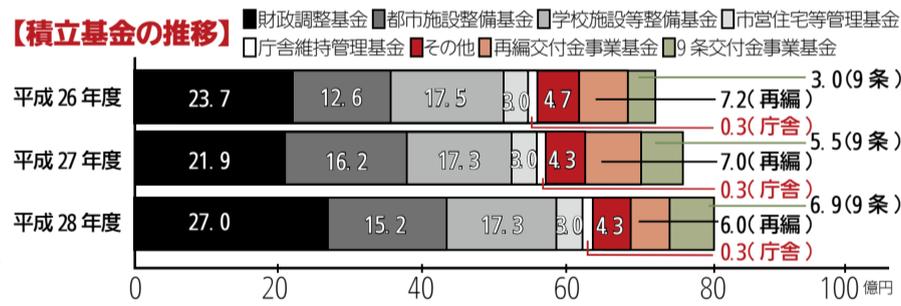
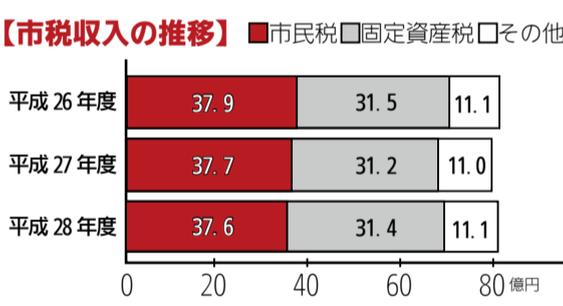
会計	歳入決算額	歳出決算額	収支差引額
国民健康保険特別会計	82 億 5,592 万 7 千円	77 億 6,668 万 4 千円	4 億 8,924 万 3 千円
介護保険特別会計	39 億 9,150 万 7 千円	38 億 947 万 5 千円	1 億 8,203 万 2 千円
後期高齢者医療特別会計	11 億 3,648 万 3 千円	11 億 1,948 万 1 千円	1,700 万 2 千円
下水道事業会計	17 億 2,685 万 1 千円	15 億 3,004 万 5 千円	1 億 9,680 万 6 千円
合計	151 億 1,076 万 8 千円	142 億 2,568 万 5 千円	8 億 8,508 万 3 千円

#### 前年度との主な比較（歳入）

- ・市税 (0.2%増)**  
新増築家屋による固定資産税の増などにより、前年度に比べて市税全体で 1,886 万 9 千円の増となっています。
- ・地方消費税交付金 (11.7%減)**  
都道府県税である地方消費税収入額の 2 分の 1 が市町村に交付されるもので、1 億 5,734 万 1 千円の減となっています。
- ・地方交付税 (1.6%増)**  
全国の自治体が一定のサービス水準を維持できるよう交付されるもので、普通交付税が 9,088 万 3 千円の減、特別交付税が 1 億 2,813 万 3 千円の増となっています。
- ・国庫支出金 (26.9%増)**  
地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金の皆減などありますが、防災食育センター整備事業補助金および保育所等整備交付金の増などにより、12 億 7,090 万 5 千円の増となっています。
- ・都支出金 (3.4%増)**  
国勢調査費委託金が皆減となっていますが、子ども家庭支援区市町村包括補助事業補助金や市町村総合交付金の増などにより、1 億 1,921 万 8 千円の増となっています。
- ・繰入金 (13.9%増)**  
財源不足を補うための基金の取崩しなどの収入で、退職手当特別負担金準備基金繰入金が皆減となっていますが、財政調整基金繰入金 8,000 万円の増などにより、全体では 1 億 1,394 万円の増となっています。
- ・繰越金 (39.4%増)**  
28 年度の前年度繰越金は、27 年度に比べて 4 億 4,200 万 2 千円の増となっています。
- ・市債 (36.6%減)**  
防災食育センター整備事業債の増などありますが、臨時財政対策債の皆減などにより、2 億 1,510 万円の減となっています。

#### 前年度との主な比較（歳出）

- ・総務費 10.5%減**  
交通安全対策費や町会関係費、税務・財務・会計事務など、市の業務に必要な経費です。平成 28 年度決算では、新公会計関連システム導入等委託料の皆減などにより、全体では 2 億 7,442 万 7 千円の減となっています。
- ・民生費 5.7%増**  
高齢者・障害者・子育て支援・生活保護などの経費で、国民健康保険特別会計繰出金や杉ノ子第三保育園建設費補助金の増などにより、6 億 2,430 万 6 千円の増となっています。
- ・衛生費 1.5%減**  
保健衛生や環境対策、ごみ処理などの経費で、西多摩衛生組合負担金の減などにより 3,113 万 2 千円の減となっています。
- ・商工費 2.5%減**  
商工業の振興のための経費で、プレミアム付商品券発行支援事業費の皆減などにより、651 万 2 千円の減となっています。
- ・土木費 13.6%増**  
道路建設や公園整備などまちづくりの経費で都市計画道路 3・4・7 号富士見通り線整備事業や第二市営住宅 A 棟エレベーター設置および A B 棟外壁改良工事などの増により、1 億 7,931 万 4 千円の増となっています。
- ・消防費 97.6%増**  
消防署業務の東京都への委託や消防団等の経費、災害対策費が主なもので、防災食育センター整備事業の増などにより、12 億 3,714 万 8 千円の増となっています。
- ・教育費 0.2%増**  
教育の充実や文化・スポーツの振興などの経費で、第三中学校校便所改良事業費の皆減や小・中学校体育館非構造部材落下防止対策事業の増などにより、493 万 5 千円の増となっています。
- ・公債費 2.0%減**  
市債（長期借入金）の元利金を返済する経費で 1,597 万円の減となっています。



### 新公会計制度による初決算報告

平成 28 年度から企業会計の手法である複式簿記・発生主義による新公会計制度を導入しています。※制度導入後、初めての決算となります。

**○新公会計制度とは**  
これまでの単式簿記・現金主義に基づく決算を補完するものとして財務諸表を作成し、従来の決算書では分からなかった資産や負債の状況や、減価償却費や引当金等を含むフルコストなどを明らかにすることができます。

**■貸借対照表（一般会計）**  
平成 28 年度末における市の財政状況を表します。左側に資産、右側に負債と正味財産を計上し、比較することで財政の懐具合を知ることができます。  
(単位：千円)

資産（現在保有する財産）		負債（将来世代の負担）	
流動資産	3,965,855	流動負債	936,295
現金預金	1,112,945	地方債	724,753
収入未済	190,987	賞与引当金	196,636
不納欠損引当金	△ 37,864	その他	14,907
その他	2,699,786	固定負債	10,139,661
固定資産	250,008,100	地方債	6,533,012
行政財産 ※1	68,275,067	退職手当引当金	3,529,251
普通財産 ※2	5,149,619	その他	77,398
インフラ資産 ※3	167,801,708	負債合計	11,075,956
重要物品 ※4	406,470	正味財産（これまでの世代の負担）	242,897,999
その他	8,375,237	正味財産	242,897,999
資産合計	253,973,955	負債及び正味財産合計	253,973,955

※1 庁舎や学校などの公共用資産 ※2 行政財産以外の公有財産（行政目的で使用しなくなった資産など） ※3 道路や橋りょう、公園など ※4 公用車など 1 件当たり 50 万円以上の物品

### 行政コスト計算書（一般会計）

平成 28 年度における市の収支状況を表します。企業会計の損益計算書に相当し、事業実施にどの程度の費用が発生し、どのような財源で補ったのかを知ることができます。  
(単位：千円)

費用	収入		
行政費用①	21,999,567	行政収入②	22,014,166
人件費	3,513,549	地方税等	13,433,044
物件費	3,389,534	国庫支出金	4,550,063
維持補修費	121,500	都支出金	3,212,030
扶助費	7,617,255	分担金及び負担金	235,291
減価償却費	1,261,679	使用料及び手数料	379,574
その他	6,096,049	その他	204,164
行政収支差額（②-①）…ア	14,598	金融収入④	2,688
金融費用③	67,640	金融収支差額（④-③）…イ	△ 64,952
金融収支差額（④-③）…イ	△ 64,952	通常収支差額（ア+イ）	△ 50,353
通常収支差額（ア+イ）	△ 50,353	特別費用⑤	14,358
特別費用⑤	14,358	特別収支差額（⑥-⑤）…ウ	151,835
特別収支差額（⑥-⑤）…ウ	151,835	当期収支差額（ア+イ+ウ）	101,482
当期収支差額（ア+イ+ウ）	101,482		

**○行政コスト計算書で見ると**  
費用には減価償却費や引当金繰入額など、現金を伴わないものも含まれるフルコストですが、それらを収入から差し引いた当期収支差額は 1 億 148 万 2,000 円のプラスとなり、経費節減の努力を行ったことがわかります。

財務諸表や事業別の決算状況などを分かりやすく説明した「決算説明書」を作成しました。市役所の情報スペースや図書館、市ホームページをご覧ください。  
※財務諸表の数値は表示単位未満の端数調整を行っていないため、内訳の計と一致しない場合があります。

防災情報の配信など、生活に役立つ「ふっさ情報メール」をご利用ください（登録方法はふっさわたしの便利帳、市ホームページ等をご覧ください）